

子ども・保護者と学校・市町村を結ぶきっかけづくりのための コミュニケーションシート

子どもが学校へ行かなくなったときに、在籍する学校とやりとりをする上で「どんなことを相談したらいいのか」「どんなことをお願いできるのか」といった不安の声や「欠席の連絡を毎日学校にしなくてはいけないのが苦しい」「給食費や教材費などの徴収を止めてもらうよう言い出せない」といったお困りの声が、保護者から聞かれることがあります。

一方、学校からも「教育支援センターやフリースクールなど外部機関を紹介することにより、子どもや保護者が学校から見放されたと感じてしまうのではないか」といった声があり、保護者と学校関係者とのコミュニケーションの難しさが指摘されています。

本シートは、これまで保護者が学校に対して電話連絡や支援会議などでお伝えいただいていたことの中で、学校との情報共有が必要となる場合・場面がある項目を整理し、子どもの育ちや学びにとって、よりよい方向性を確認していくきっかけとなることを目的として作成しました。

本シートを学校・市町村とコミュニケーションをとる対話の場面で活用していただくことを期待しています。

コミュニケーションシート

学校とのやりとりの中で必要な項目について、希望される□にチェックを入れてください。すべての項目は複数選択が可能です。また、コミュニケーションシートは、必要に応じて何度でも活用してください。

01 連絡の方法について：保護者から学校への出欠席の連絡方法

(1) 学校への連絡方法

- 学校からの情報配信アプリ
- 電話
- メール
- その他 ()

(2) 学校への連絡の頻度

- (出欠に関わらず) 毎日
- 欠席する場合だけ
- 登校する場合だけ
- その他 ()

02 連絡の方法について：学校から保護者への連絡方法

(1) 連絡の頻度

- 毎日 電話 / メール / 情報配信アプリ
- 週に1回程度の 電話 / メール / 情報配信アプリ
- 月1回程度の 電話 / メール / 情報配信アプリ
- どうしても必要なときだけ 電話 / メール / 情報配信アプリ
- その他 ()

(2) 誰から

- 担任の先生
- 担任以外の先生 ()
- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 居場所・フリースクールを通して (施設名:)
- その他 ()

(3) 子ども本人への連絡

- 連絡を控える
- 本人が希望する場合だけ
- 事前に保護者に相談
- その他 ()

03 配付物について

(1) 学校からの配付物

- 配付物の全て（お便り、各教科の授業プリント、各教科の課題など）
- 必要ない
- その他（ ）

(2) 配付の頻度

- 毎日
- 週1回
- 月1回
- その他（ ）

(3) 配付場所・方法

- 学校
- 自宅（郵送・対面）
- 兄弟姉妹・友人（ 年 組 ）に預ける
- 居場所・フリースクールに預ける（施設名： ）
- その他（ ）

04 給食について

- 提供を続ける
- 提供を止める
- その他（例：登校時の提供については別途相談する）

05 学年費などお金について

(1) 学年（学級）費

- 毎月支払う
- 支払いを止める
- その他（ ）

(2) 旅行貯金（業者積み立てを含む）

- 毎月支払う
- 支払いを止める
- その他（ ）

(3) 教材（教材費）

- 全て購入
- 必要な教材のみ購入
- 購入しない
- その他（ ）

06

その他

(1) 学校から提供してほしい情報

- 本人、又は保護者が相談し、思いを伝えられる場所・人の情報
- 学校外での学びの場の情報（教育支援センター、相談室、居場所・フリースクール）
- 不登校の親の会の情報
- その他（）

(2) 健康診断や行事などで、学校に行った時に配慮してほしいこと

- 他の児童・生徒との交流・接触（競い合い・協力・孤独・騒がしさ）
- その他（ある場合、具体的な内容）

07

学校外の学びの扱いについて

- 居場所・フリースクールの利用日を出席扱いにすることを希望
- ICT教材などによる自宅学習を出席扱いにすることを希望
- 学校外の居場所・フリースクールや自宅での学習を通知表に反映させることを希望
- 上記のいずれも不要
- その他（）

08

子どもと保護者の思い

(1) 子ども

(2) 保護者

その他ご相談したいこと（地域活動、PTA活動など）

年 月 日

小・中学校長 様

記入者氏名

*本シートは教育委員会、教育関係者、居場所運営者、フリースクール運営者が協力して作成しました。

*本シートは、神奈川県川崎市の特定非営利活動法人「多様な学びプロジェクト」による「学校への依頼文」フォーマットを参考に作成しました。本シート作成に当たり、代表の生駒 知里様には多大なるご協力をいただきました。ここに感謝申し上げます。

なお、多様な学びプロジェクトが作成された「学校への依頼文」フォーマットは、以下のURLで公開されております。

<https://www.tayounamanabi.com/single-post/gakko-iraibun>

